

「くり返しは身を守る第一歩」

栗原市立鶯沢小学校3年

高橋 桜冬さん

「まただ。こわいなあ。」

毎日、テレビのニュースで子どもの事故が放送されています。交通事故はもちろんのこと、ゆうかいや不しん者、連れ去りなどわたしたちの身の回りには、多くの危険がかくれています。

先日、防犯教室が学校で行われました。わたしたちが、不しん者に声をかけられた時どうするか勉強です。不しん者役がけいさつの人と分かっていますが、すごくこわい感じがしました。

(わたしが声をかけられたら、すぐにげることができるかな。)

と、不安になりました。3年生の友だちも、ついては行かないけれど、すぐにげることができません。

このような学校の防犯教室は、毎年行われています。そのたびに、『いかのおすし』の合い言葉や声をかけられた時、どのように話し、不しん者とのきよりをどの位とるか、車から声をかけられた時、どちらの方向ににげればよいかなど大事なことをくり返しくり返し教えられています。

(このように、くり返しくり返し練習することで、いざという時、自分の身を守れる。)

と、感じることができました。

この防犯教室をきっかけに、自分の家の防犯について考えました。わたしの家では、家族で話し合うことがあります。たとえば、一人で留守番をしている時、

「ピンポーン。」

と音が鳴っても、すぐに玄関を開けないで、

「必ずカメラを見なさい。」

と教えられています。もちろん、暗い道を一人で歩くと危険なことも小さい時から、教えられています。

そして、お父さんやお母さんは、子どものわたしたちと話し合うだけではなく、おじいちゃんやおばあちゃんとも話し合って、

「これは、気を付けなくてはいけないよ。」

と、家族みんなで気を付けることをたしかめています。

家族のそんな会話が、危険から身を守ることに繋がっていると思います。そして、ひなくんれんと同じように、防犯教室でのくんれんも大事です。くり返しくり返し行うことでわたしたちも、どのように行動すればよいか体でおぼえることができます。

(今年は、防犯くんれんの時、すぐににげるということができなかつたけれど、来年になったらできる。)

と自信も出てきます。

これからも、ニュースで見るようなこわい事件が起こると思います。そんな時、くり返し、家族で話し合い、そして学校での防犯教室を思い出すことにより、自分の身を守ることができると思います。

くり返しは、身を守る第一歩です。